

修士論文（又は特定課題研究）要旨 （日本語）

題 目

ゴールベースシナリオ（GBS）理論の適応度チェックリストを活用したシナリオ型教材作成支援手法の提案

要 旨

e ラーニングなどの自己学習教材の学習効果を高めるためには、学習者主体で、かつ能動的な学習を促す教材設計が必要である。これらを実現するために有効な教材としてシナリオ型教材があるが、シナリオ型教材の作成は難しいため、容易に作成できる手法が求められている。本研究では、先行研究「ゴールベースシナリオ（GBS）理論の適応度チェックリストの開発」（根本・鈴木 2005 日本教育工学会論文誌 29(3), 309-318, 2005）で開発されたチェックリストを非シナリオ型教材に適用し、非シナリオ型教材をシナリオ型教材に変換する際に必要になる情報や問題点を明らかにすることにより、シナリオ型教材の作成を容易にする手法を提案する。

第 1 章では、上記に記載の、本研究の背景、目的、目標、および本研究の進め方について述べた。第 2 章では、先行研究において GBS 適合度チェックリストをすべて満たすとされるシナリオ型教材（Y 教材）の構造を分析し、シナリオ操作の仕組みを明らかにした。第 3 章では、Y 教材のシナリオ操作の仕組みを利用して、非シナリオ型教材の要素をシナリオ型教材に変換するためのひな型を作成した。また、そのひな型を用いてシナリオ型教材を作成し、評価を行った。第 4 章では、第 3 章でシナリオ型教材を作成した手順を手順書としてまとめ、その手順書に基づいてシナリオ型教材を作成し、手順書の改善を行った。また、改善した手順書を第三者に渡し、第三者にシナリオ型教材を作成してもらい、その結果を評価した。最終章では、本研究の成果であるひな型と手順書の作成に対する考察と今後の課題について述べた。

学生番号 114-G8808 氏 名 嶋田 謙一

修士論文（又は特定課題研究）要旨 （英語）

題 目

A proposal of how to develop a scenario-based e-learning content using the goal-based scenario (GBS) checklist

要 旨

This paper proposes an efficient and effective way to develop a scenario-based e-learning content from a non-scenario-based e-learning content using the goal-based scenario (GBS) checklist. The checklist was developed by Junko Nemoto and Katsuaki Suzuki, which helps to judge whether existing/designed scenarios follow the GBS design principles. However, we can't design a GBS efficiently using the checklist only because we don't know how to design the scenario itself. So this paper introduces some important points found by analyzing an existing scenario-based content with the checklist completely fulfilled, applying the checklist to existing non-scenario-based contents, and designing GBS contents from the non-scenario-based contents using the analysis, to help to design a GBS efficiently.